

第30回教育研究推進センター
共同機器セミナー&デモンストレーション

～全自動電気泳動装置「MultiNA」活用術～
ゲノム編集による変異導入個体の簡便迅速選別への応用

日 時:平成29年11月15(水)、16日(木)

15日 17:30～18:30 セミナー:カンファレンスルーム

:共用研究棟 2階(プレハブ棟 2階)

16日 10:30～15:30 デモンストレーション:遺伝子解析装置室(1)

:機器センター棟 2階

講師:大杉 義彰 様

株式会社島津製作所

分析計測事業部 グローバルマーケティング部



CRISPR/CAS や TALEN などのゲノム編集ツールの登場により、塩基配列の欠失や挿入が簡便に実施できるようになりました。しかし、編集後の確認は DNA 配列分析で行うため、手間とコストがかかる点が課題となっています。

今回のセミナーでは、標的遺伝子内に生じる欠失や挿入の有無をマイクロチップ電気泳動装置 MCE-202 MultiNA を用いて簡単な操作で確認する事例を紹介し、併せて MultiNA の他の活用事例もご紹介いたします。また、デモンストレーションでは実際にご提供いただいた試料を分析し、操作性とデータをご確認いただくことができます。

【セミナー内容：15日】(※あらかじめご質問がございましたらセミナー前にご連絡下さい。)

- ・ MultiNA の概要と特長
- ・ ゲノム編集後の遺伝子型確認
- ・ ゲノム編集による変異導入効率の算出法
- ・ その他の活用事例

【デモンストレーション：16日】 スタート時間:(1)10:30、(2)13:00、(3)14:30 の予定です。

- ・ MultiNA の概要説明
- ・ ご提供いただいた試料の分析と データ解析
- ・ 質疑応答

【試料について】 デモンストレーションで分析できる試料は、PCR 反応物やそれを制限酵素で消化したものなどの二重鎖 DNA で、サイズは 10～12000bp、最低必要量は、6 μ l、濃度は、PCR 反応物で 0.2～50ng/ μ l です。濃い場合は希釈して分析します。分析時間は、20 サンプルで 1 時間程度です。

【お願い】 デモンストレーションで分析できる試料の数には限りがありますので、分析希望の方は 11 月 10 日(金)までにご連絡下さい。見学の方はご自由に参加してください。

セミナーを撮影したビデオを学内限定で公開させていただきますことをご了承ください。ご意見、ご希望が御座いましたら教育研究推進センターまでお問い合わせ下さい。

【申し込み、お問い合わせ】

旭川医科大学教育研究推進センター 船越 洋/上田 潤/千葉伸一 内線 2645

E-mail chichi@asahikawa-med.ac.jp